

市営・県営住宅アンケートへのご協力ありがとうございました 寄せられた声を熊本市へ届け 改善を要請

日本共産党市議団が、昨年12月より市内の市営・県営住宅の入居者に行ったアンケート調査において、2月10日時点で、約300人の方から回答が寄せられました。アンケートへの協力ありがとうございました。

早速、寄せられた声をまとめ、まずは熊本市に対して市営住宅の住環境改善に向け、要請を行いました。



市営住宅管理センター

**台所や風呂などの水回りの腐った床など
要望があれば取り替える**

要望の中で、「台所や風呂場など、水回りの床が腐ってしまい、なんとかしてほしい」との要望が寄せられてことに対し、住宅管理センターの担当者から「要望があれば取り替えるようにしている」との回答が寄せられました。

ご要望のある方は、市議団までお寄せください。

「修繕の要望を言っても、自らが修繕費を負担しなければならない」という思いから、要望をあげられずにいる方も多数いらっしゃいます。

要請では「経年劣化で修繕が必要なものは市の負担で早期に修繕を図ること」「修繕を必要としている方が声をあげられるよう、入居者への周知を図ること」など求めました。

壁・畳・ふすまなどの老朽化、水回りの劣化、風呂のバリアフリーなどなど 計画的な修繕や老朽化対策を求める声が多数

お住まいの住居でお困りの事はありませんか。(複数回答可)						
回答数	浴槽・トイレ・設備台	バリアフリー	間取り	採光・通風	畳	その他
84	23	11	27	50	47	

住宅についての要望では、上記の表のように、外壁のはがれなど住宅の老朽化、風呂・トイレ・台所など水回りの老朽化、湿気によるカビの発生、バリアフリーへの不十分な対応など、市営住宅の住環境について多くの苦情や

要望が寄せられ、快適な住環境整備とは言い難い現状が各市営住宅にあることも明らかになりました。

団地ごとの具体的な要望項目をまとめた冊子を担当課に手渡し、改善を求めました。



快適な住環境整備にむけ市営住宅予算の拡充を！

熊本市市営住宅条例では、「市営住宅等は、安全、衛生、美観等を考慮し、便利で快適なものとなるように整備しなければならない」と熊本市の責務が明記されています。

しかし、新年度予算では、市営住宅の修繕予算が市長によって減額

査定とされました。大西新市長が掲げる「上質な生活都市くまもと」を目指すのならば、桜町再開発より、まずは市民の生活の基盤となる市営住宅の環境改善に取り組むべきです。

熊本市へは、住宅ごと寄せられた要望について改善を求めるとともに、以下の項目について要請を行いました。

1. 住民から寄せられた要望や指摘をもとに、実態を調査し、早急な改善を図ること。
2. 畳の取り替え、給湯器の取り換え等、更新期間を過ぎている住宅も少なくないことから、市営住宅の計画修繕、維持補修経費を拡充すること。
3. 市営住宅への市民ニーズを具体的につかみ、市営住宅の増設を行うこと。

子ども医療費無料化は拡充せず、桜町再開発会社へは「20億円」もの貸付

くらし・福祉・教育は後回し、大企業に「至れり尽くせり」では、あべこべではないでしょうか？

2月16日から開催となる定例市議会に提案される2015年度新年度予算案が示されました。大企業が行う再開発事業へは大盤振る舞い、市民の暮らし・福祉・教育には冷たい市政の実態が浮き彫りです。特徴を紹介します。

桜町再開発、440億円の資金提供に加え、無利子貸付20億円

民間企業（九州産交・HIS）が実施する桜町再開発事業に、熊本市は126億円もの補助金を出し、MICE施設を整備することで314億円もの事業費を出します。

さらに新年度の予算では、「都市開発資金貸付事業特別会計」を新設し、桜町再開発会社は無利子での貸付金を20億円も提供します。

民間事業者が貸付を受ければ有利子となるものを、熊本市が貸付窓口になることによって、国の「市街地再開発等事業資金」の貸付金制度を利用し、再開発事業に要する費用を無利子で調達するものです。

熊本市は、桜町再開発会社に貸付金を提供するために条例をつくり、貸付の特別会計まで新設しました。

熊本市が中小企業に運転・設備・創業等で資金融資を行う場合は、すべて有利子です。

利益を上げている大企業には多額の無利子貸付をし、資金繰りに困っている中小企業には有利子貸付けでは、あべこべではないでしょうか。

再開発会社補助金・今年度は9.5億円

再開発会社への補助金総額126億円のうち9億4700万円が2015年度支出されます。

3000人収容のMICE施設は、「(仮称)熊本城ホール」と命名され、新年度予算には、運営検討・整備周知・広報及び保留床価額検証費等5810万円が予算化されています。

中3までの子ども医療費無料化・がん検診無料化は先送り

市長が公約した「中学3年生までの子ども医療費無料化」や「がん検診無料化」は、新年度全く予算化されませんでした。

利益を出している大企業に20億円も無利子融資をするお金があるならば、市民の期待に応え、公約に掲げた子ども医療費無料化・がん検診無料等こそ、真っ先に予算化すべきです。

党市議団が繰り返し求めてきた要求が実現！

* 中学校のエアコン設置・設計費

小中学校へのエアコン設置は、中学校への設置について、設計費のみ5500万円が予算化されました。

* 障がい者のガソリン券支給

念願の障がい者へのガソリン券支給は、ひとり年12000円が実現し、1140万円が予算化されました。しかし、金額が少ないこと、対象が知的障がい者に限られるなど課題も残ります。

(控室から)

住民運動7期28年 益田牧子

7期28年の市議会議員生活では、様々な住民運動に取り組んできました。1期目は、九品寺に計画された「場外馬券売り場開設反対運動」PTAなどの反対署名運動もあり、中止することができました。2期目は、公団世安団地のちびっこ広場をお母さんたちと一緒に守りました。マンション建設反対運動では、要綱制定により、行政の紛争調停の道を開きました。3期目は、石神山採石場買収のムダ遣いを追及し住民訴訟。独鈷山の乱開発に反対し、地元の皆さんの裁判闘争支援。4期目は、さくらカードのプリペイド有料化で初めて市役所前で座り込み。家庭ごみ有料化反対運動。5期目は、党派を超えた産院存続運動。市役所前での座り込みなど、いのちがけの運動でした。6期目は、産業文化会館廃止反対運動。国保料引き下げの運動にも取り組み、保険証未交付を解消。地元のスーパージョー建設に関する協定書締結。7期目は、桜町再開発へのMICE施設建設に反対する運動。住民運動で、鍛えられ、「ドント来い」と度胸がつき、共同の輪を広げることができました。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 937
2015年2月15日号
電話 328-2656
FAX 359-5047
メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
ホーム: http://www.jcp-kumamoto.com/

